

保健学部門検査技術科学専攻の学部学生・大学院学生に対する病理細胞診断学の教育・研究

【はじめに】

保健学科検査技術科学専攻では、病院検査部などで臨床検査技師として働く技師教育および臨床検査関連企業の研究職への教育および研究を行っております。このうち病理細胞学分野では、病理細胞診検査終了後の標本を用いた病理細胞診断学の教育・研究をすることにより、患者さんや医師に信頼性の高い病態情報を提供することが可能となり、医療の質の向上に貢献しております。

【対象】

対象者は、平成14年1月1日から平成23年3月31日までに、九州大学病院病理部に子宮頸部・体部、喀痰、気管支擦過、乳腺、甲状腺、尿、腹水、胸水の病理細胞診標本（パパニコロウ染色標本）と、手術摘出後の病理組織標本（HE染色標本）が提出された患者さん、合計210例。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

【教育・研究内容】

本学の保健学部門検査技術科学専攻学部学生および大学院生への、病理細胞診診断技術の教育および、細胞診診断に関わる新たな研究開発を行います。

具体的には、病理細胞診標本を、顕微鏡で以下の項目について観察し、1) 細胞の出現状態、2) 細胞集塊の性状、3) 細胞の形、4) 核クロマチンの性状、5) 核小体の性状、6) 核クロマチンの分布、7) その他、細胞の悪性所見の有無や特徴的所見について検討します。また手術摘出後の病理組織標本（HE染色標本）とも対比させて、細胞診診断技術を教育するとともに、細胞診診断に関わる新たな研究開発も行います。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学大学院医学系学府保健学専攻及び九州大学医学部保健学科検査技術科学分野においては、個人を特定できる情報を削除

し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないように致します。

また、標本の紛失を防ぐために、厳重な運搬用ケースにて運搬をし、紛失等の無いように記録管理を行うとともに、カギを掛けて厳重に保管致します。

さらに本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

【教育・研究期間】

承認日から平成 28 年 3 月 31 日までです。

【医学上の貢献】

病理細胞診断学の教育研究を通して、正確な診断が可能となり、医療の質を向上させることができます。

【研究機関】

九州大学大学院医学研究院 保健学部門検査技術科学分野

検査技術科学分野主任教授 杉島節夫

指導責任者 教授 杉島節夫、准教授 田宮貞史

九州大学病院病理部長 教授 小田義直

連絡先：〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

Tel 092-642-6745 杉島 節夫